



平成21年7月14日

各 位

株式会社 **ヨロズ**

横浜市港北区樽町三丁目7番60号
代表取締役社長 佐藤 和己
(コード番号 7294 東証 市場第一部)
問合せ先 執行役員財務部長 佐草 彰
(TEL. 045-543-6802)

米国子会社(孫会社)の生産体制変更に関するお知らせ

当社は平成21年7月14日開催の臨時取締役会において、下記のとおり米国子会社(孫会社)ヨロズオートモーティブノースアメリカ社(YANA)の操業を一時休止し、全ての生産をヨロズオートモーティブテネシー社(YAT)へ集約することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 操業休止する会社の概要・生産集約の理由等

ヨロズオートモーティブノースアメリカ社(Yorozu Automotive North America, Inc.)

- | | | |
|----------|--------|---|
| 1) 会社の概要 | ・ 所在地 | 米国 ミシガン州 バトルクリーク市 |
| | ・ 代表者名 | 本多 操 |
| | ・ 事業内容 | 自動車部品の製造・販売 |
| | ・ 資本金 | 20百万ドル |
| | ・ 従業員数 | 141名(平成21年6月末現在) |
| | ・ 大株主 | ヨロズアメリカ社
(ヨロズアメリカ社は当社の100%子会社であります。) |

2) 生産集約の理由

ヨロズオートモーティブノースアメリカ社(YANA)は、米国ミシガン州においてGM、ホンダ、スバル及び三菱向けに主に乗用車系車種のサスペンション部品を供給してまいりました。

しかしながら、世界的な自動車需要は低迷し、とりわけ米国ではGMやクライスラーの経営破綻の影響による落ち込みが著しい状況にあります。

また、YANAの主力生産車種でありますGMシボレーマリブの生産が、GMオリオン工場(ミシガン州)からGMフェアファックス工場(カンザス州)に集約されることになりました。

当社としては、これらにフレキシブルに対応し、最大の効率化と最適生産体制のために、昨年12月のヨロズオートモーティブミシシッピ社(YAM)の閉鎖に引き続き、YANAの操業を一時休止し、全ての生産をヨロズオートモーティブテネシー社(YAT)へ集約することといたしました。

この生産集約により、固定費の削減及び生産の効率化を図ることができ、北米の営業利益は改善いたします。

3) 操業集約の時期 平成21年10月(予定)

2. 業績に与える影響

ヨロズオートモーティブノースアメリカ社操業休止による一過性の損失として連結では約9億円、当社単体では約4億円を見込んでおります。

なお、本件を踏まえ本日、今年度の業績予想について修正発表を行っております。

以上